

●お子さまの夢を大きく育てる

**SAWA BABY** (この製品は日本で製造されています)

## 組み立て方と取扱い説明書

取扱い説明書は、必ず読んで下さい。その後は保管してください。

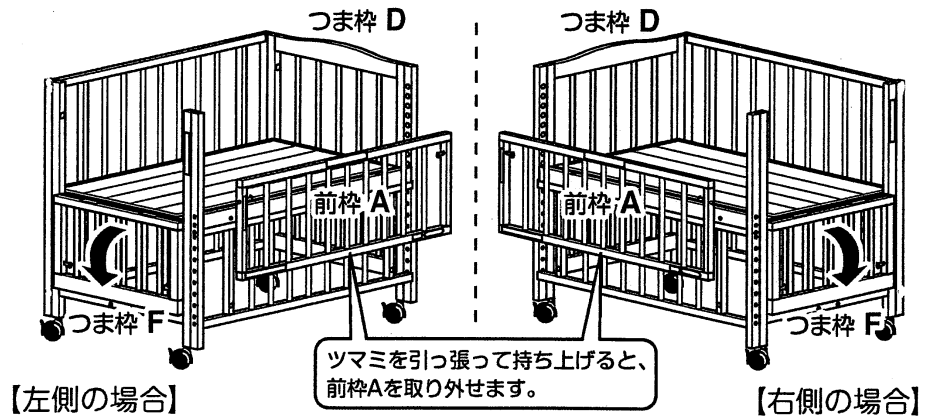
※ボルト等はゆるんでいないか、時々点検してください。

※組立、解体はお二人で行ってください。

※つま杵(扉付)は左右どちらにも取り付けできます。

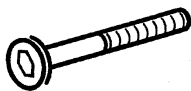
# レンタル用ミニベッド ジェミニ

(財)製品安全協会安全基準合格品

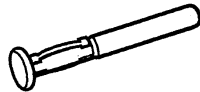


## 附属金具

●六角ネジ  
[8本]



●とこ受ピン  
[4本]

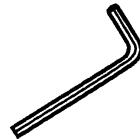


●キャスター [1セット]



[ストッパー付き 4個]

●六角レンチ  
[1個]



※組立ボルトは(杵がはずれない程度)にゆるめに取付け、完成時に確実に締めて下さい。

## 使用上の注意

- ① 組み立てが終わりましたら、もう一度各部にがたつきがないか、ネジ等がしっかり締まっていることをお確かめ下さい。
- ② 製造して間もない商品によっては、塗装の臭いなどが、抜け切らないものがあります。健康に影響を及ぼすことはありませんが、その場合には早めにベビーベッドを組み立て窓を開けて通気していただくと、次第に臭いが薄れてきます。
- ③ 杵の所々にタッカー(釘)の穴がありますが、構造上安全向上の為、タッカー(釘)を打った跡ですのでキズではありません。

サワベビー

**S** 澤田工業株式会社

〒689-1213 鳥取県鳥取市用瀬町鷹狩661-1

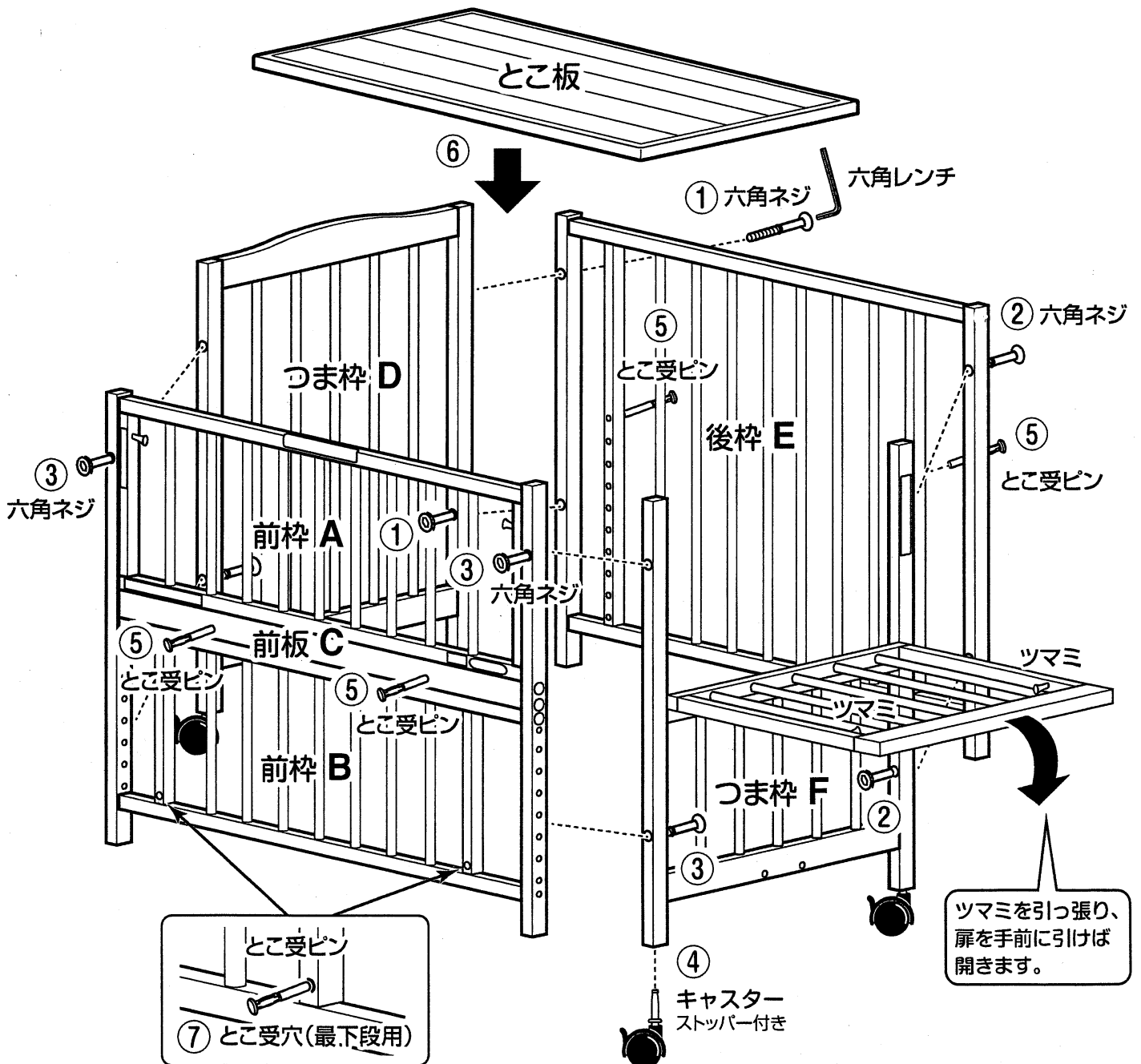
TEL(0858) 87-2611 FAX(0858) 87-2613

## ● ベッドの組み立て方

はじめに、つま杵 (F) の扉の開く向き (右開き、左開き) を決めてから組み立ててください。

※右開きの組み立て方で説明しています。左開きで組み立てる場合は、つま杵 (D・F) を入れ替えて組み立ててください。

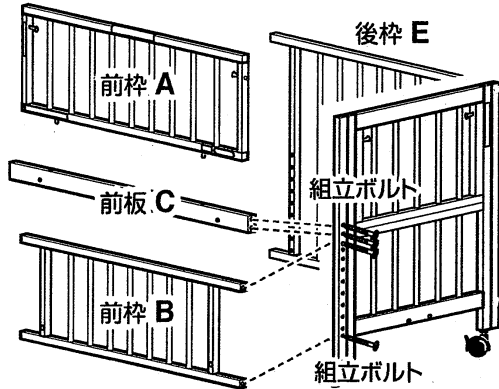
- ① つま杵 (D) を後杵 (E) に六角ネジでゆるめに取り付けます。(上下2カ所)  
※上部は後杵 (E) 側から取り付け、下部はつま杵 (D) 側から取り付けます。
- ② 同様につま杵 (F) を後杵 (E) に取り付けます。(上下2カ所)
- ③ 前杵 (A・B) ・前板 C をつま杵 (D・F) に取り付けます。(計4カ所)  
※上部は前杵 (A) 側から取り付け、下部はつま杵 (F・D) 側から取り付けます。
- ④ キャスターの穴に下からキャスターを差し込みます。(計4カ所)
- ⑤ ところ受ピンを外側から差し込みます。(前板 C、後杵 E の計4カ所)
- ⑥ ところ板をとこ受ピンの上に置きます。
- ⑦ ところ板高さは 9 段階調節(裏面参照) です。赤ちゃんがつかまり立ちをするようになったら、ところ板を最下段に下げてください。最下段に下げる場合は、前杵 B のところ受穴(最下段用)を使用してください。
- ⑧ 各ボルトをしっかり締め直し、各部のガタつきをチェックして完成です。



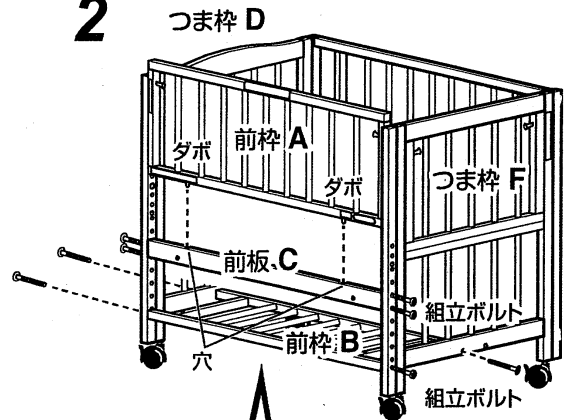
● **とこ板の高さを調節する** 別紙「丸ナットと組立ボルトの装着について」をよくお読みください。

- ① とこ板、後枠 (E) のとこ受ピンを取り外し、組立ボルトを全てゆるめます。
- ② 前枠 (A)、前板 (C)、前枠 (B) の順に取り外します。(組立ボルト 計8カ所)
- ③ 前枠 (B) を横に倒し、つま枠 (D・F) の下側の穴 (計4カ所) に組立ボルトで取り付けます。
- ④ 前板 (C) をつま枠 (D・F) に組立ボルトで取り付けます。(計4カ所)  
※とこ板の高さは9段階で調節できます。
- ⑤ 前枠 (A) を取り付けます。(ダボを穴に差し込んでください。)
- ⑥ 後枠 (E) にとこ受ピンを取り付け、とこ板を置き、各ボルトをしっかり締め直して完成です。

1



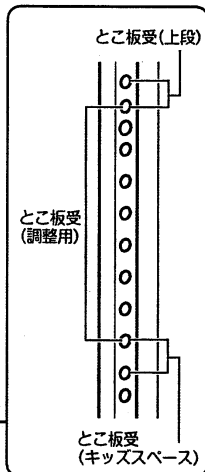
2



3

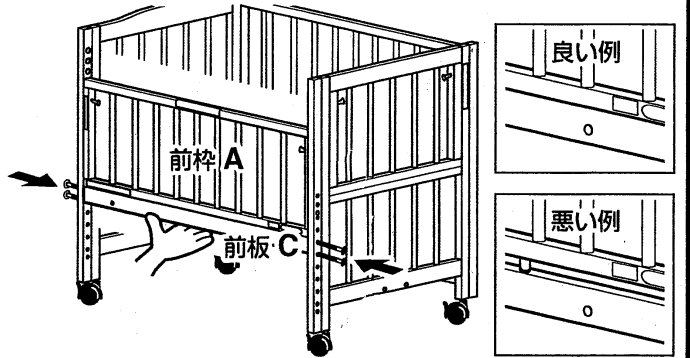


【完成図】

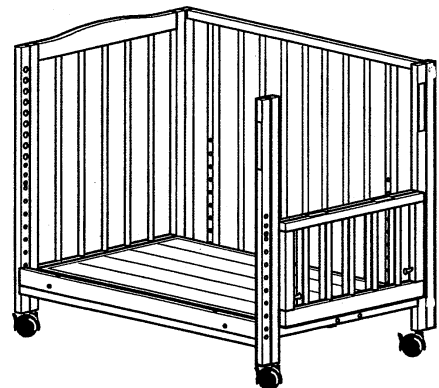


とこ板は9段階調節です。

組立ボルトをしめる時に、軽く持ち上げてください。  
(前枠 A と前板 C の間に隙間ができないように)



【完成図】



● **キッズスペース組みかえ方法**

キッズスペース使用時は、SG・PSCの適用外となります。

前板 (C) を最下段に取り付け、  
前枠 (A) を取り外してください。

※ボルト等はゆるんでいないか、時々点検してください。  
※組立、解体はお二人で行ってください。

# PSC・SGマーク付き ベビーベッドの特長



ベビーベッドのご利用は **出生後24ヶ月以内** です

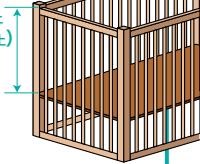
※SGマークが表示されているベビーベッドは、主として家庭において、出生後24ヶ月以内の乳幼児の睡眠または保育に使用することを目的として設計されたものです。(揺動型のものを含まれていません。)  
※またマットレス、ふとんなどは対象外となっています。

## ① しっかりとした構造の床板

床板は使用時に容易に外れないようしっかりとした構造になっています。

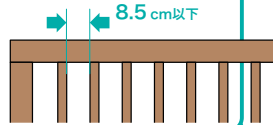
## ② 乗り越え防止の設計

床板の上面より30cmの高さまでの範囲には、横棧など幼児が足を掛けるような構造は一切付いていません。また、床板の上面から上桟までの高さが60cm以上(床板の高さを調整できるベッドの最上段は35cm以上)に設計されており、乳幼児の乗り越えを防止する設計になっています。



## ③ 乳幼児の頭が入らないような構造

組子(棧)間や組子と支柱間の間隔は、乳幼児の頭が入らないような構造(8.5cm以下)になっています。



## ④ 強度検査済みの製品

床板、前枠および後枠、組子などは、所定の強度を保持し、検査基準を満たしている構造になっています。

※乳幼児がベッドの上であばれたり、保護者が枠により掛っても十分耐えられるようになっていますが、保護者は床板に腰を掛けしないで下さい。

## ⑤ 安全性の高い部品や塗料を使用

合成樹脂製品、合成樹脂塗料、繊維製品などを使用しているものについては、食品衛生法や有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律などによる規制基準を参考として、その安全性が確認されています。



# 使用上のご注意

誤った使い方をして思わぬ事故を起こした例もありますので、正しい使い方にご注意して、赤ちゃんの安全をお守り下さい。

- 使用してよい乳幼児の年齢は標準として**生後24ヶ月以内**です。
- 敷ふとんおよび、マットレスなどは枠との間に**すき間を生じない**もので、適当な硬さを有するものを使用して下さい。
- ベッドの設置場所は水平、平たんで近くにストーブなどの危険物のない安全な場所を選んで設置して下さい。
- ベッドの外側および内側には乳幼児が足を掛けるような物や折りたたんで高くなったふとん、オムツ、衣類などは置かないようにして下さい。
- 止め金具およびネジ類は**確実に**かどとかきどき点検し、ゆるんでいる場合は**しっかり締め直**して下さい。**代替品の金具は使用しないで下さい。**
- 床板の高さを調節できるベッドは、**乳幼児がつかまり立ちできるようになった場合(早ければ生後5ヶ月から)**乗り越える危険がありますので床板は床板上面から上桟までの**高さが60cm以上**になるように調整して下さい。調整後の高さが60cm未満のサークル兼用ベッドの場合は、床板とキャスターを外してサークルとしてご使用下さい。
- 1歳を超えますと、幼児の動きも活発になり、床板の高さが最下段でも**枠を乗り越える**場合がありますので十分ご注意下さい。
- マットレスまたは敷ふとんなどを使用する際には、乳幼児が容易に枠を乗り越えて落下する高さとならないように注意して下さい。
- **扉使用後は(ベッドから保護者が離れる時も)**スライド式または開閉式の扉の柵は必ず**上段**の位置に固定して(戻して)下さい。
- キャスターにストッパーが付いているものは、使用時に必ずストッパーを掛けて下さい。
- ベッドには**ひも類**などの不必要なものは危険ですので取りつけないようにして下さい。
- 枠には腰を掛けたり、ぶら下がったり、揺さぶったりするようなことはしないで下さい。
- ベッドは**破損、故障などが生じた状態**では使用しないで下さい。
- 同時に**2人以上**で使用しないで下さい。
- 乳幼児の頭幅が柵の縦棧の間隔および縦棧と支柱との間隔より小さい場合は、十分注意して使用して下さい。
- スライド式または開閉式の扉を操作する際に、手足などを**はさむ**危険がありますので十分注意して下さい。また、保護者以外は操作しないで下さい。



### 固定用ベルトの取り付け方

- ① 金属のプレートにベルトを通します(図1)
- ② バックルにベルトを通します(図2)
- ③ ベビーベッドの床板をはずし、大人用ベッドのマットレス下にベルトを通します。(図4)
- ④ ベビーベッドのつま棒手前側にベルトを通し、長さを調節してバックルを装着します。
- ⑤ ベビーベッドの床板を取付けて完成です。  
\*幅195cm以下のベッドに対応できます。

